

広報 おおの



それいけ、バトンタッチ (小学校連合体育大会)

主な内容

	ページ
国民健康保険について……	2～3
国勢調査……	4
社会人から市職員募集……	5
九月議会	
痴ほう性デイサービス開始……	6
市民のページ……	10～11
お知らせ……	14～15

平成8年(1996年)

10月号
No.613

国保の医療費が増えています

自分自身の健康管理がまず第一

増え続ける医療費は国民健康保険の会計を圧迫し、国保税のアップを招きます。皆さん一人ひとりが自分自身の健康に心掛け、適切な受診で医療費を大事に使いましょう。



国民健康保険は、加入している皆さんが病気やけがをしたときの医療費を負担する大切な制度です。その医療費が年々増え続け、平成七年度の大野市国民健康保険加入者の総医療費は、四十二億円にも上っています。

国保加入者の医療費は、保険税や国庫支出金その他で賄われています。平成三年ごろまでは順調な経済成長により個人所得が伸びると共に保険税収入も伸び、増え続ける医療費にも何とか対応してきました。しかしバブル崩壊後の景気の低迷、そして過去のようない現在、医療費の増加はそのまま保険税率の引き上げにつながります。

一人の医療費が 約三十五万円

保険税はすべて医療費に充てられています。国保加入者一人ひとりの税負担によって医療費は支払われているのです。大野市国保会計の平成七

年度の収支状況を見てみると、単年度で一千七百万円もの赤字となっています。保険税は高いと思われるがちですが、それ以上に医療費が増え続けているのが現状です。

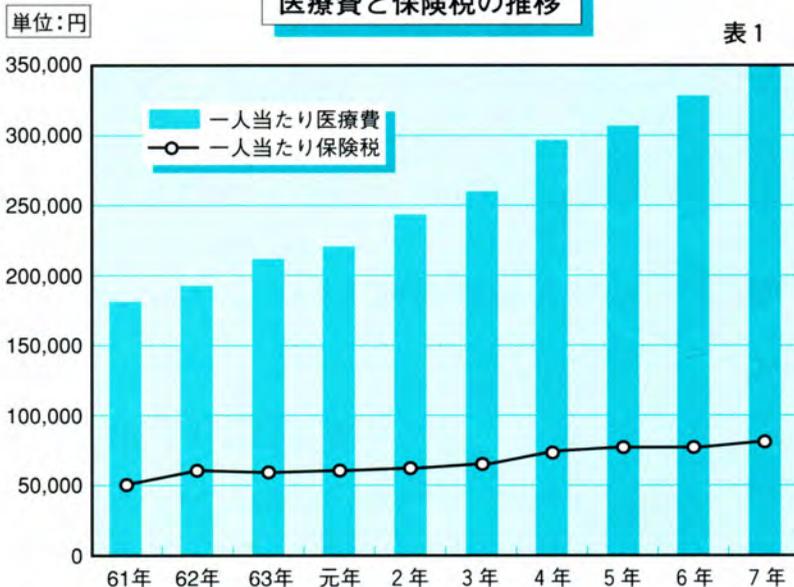
自己負担を含んだ一人当たりの国保加入者の医療費を十年前と比較すると、十八万二千四百円から三十四万九千九百三十一円へと二倍近くに増えていきます。これに伴い一人当たりの保険税の負担も、五万一千四百二十円から八万八

十一円へと一・五六倍になっています。(表一参照)

医療費が増え続ける理由には、人口構造の高齢化・日々進歩する医療技術など医療制度の抜本的な見直しが必要なものもあります。一方では成人病など慢性疾患の増加、一人ひとりの医療機関への掛かり方などが医療費を引き上げています。これは国保以外の保険に加入している人も同じことです。皆さんもつと医療費に関心をもちましょう。

医療費と保険税の推移

表 1



注) 一人当たり医療費には、患者自己負担分を含みます。

健康づくり事業に参加しよう

医療費の節約とは、たとえ病気になるっても医療機関に掛からないということではありません。早めに手を打つことが大切です。早く気が付いて早く治す。そのためには自分の健康状態を知ることが重要です。普段からの健康管理が私たちにできる医療費抑制のための一つの方法です。

市でも、これまでの医療費の支払や保険税の賦課だけにとどまらず、国保加入者の健康づくりを推進する保健事業も重要であると受け止めています。

ます。これからもいろいろな健康づくり事業を推進していきますので、積極的に活用ください。

☆薬草教室

野山を散策しながらの探草会や薬草料理教室

☆健康生活気づき教室

自分にあつた生活改善方法を知り、実践する大切さに気付きましょう。講話や料理教室・体操教室など。

☆てくてく旅行 ぐるり日本

一周 毎日頑張つて歩きましょう

国保一口メモ

国保の世帯主とは

国保は生まれたばかりの赤ん坊からお年寄りまで、一人ひとりが平等に被保険者になります。そのため加入者を代表する世帯主には、資格の取得・喪失の届出、保険税の納付などの義務があるとともに、療養費・葬祭費・出産育児一時金などの支給を受ける権利もあります。

この権利と義務を行使するために、世帯主は国保世帯の生計を維持し対外的にもリーダーシップを持っていると認められる人でなければなりません。さらに一定の事務能力と保険税負担能力も必要です。

つまり世帯主は必ずしも国保に加入している人とは限りませんし、住民登録上の世帯主と異なる場合もあります。

薬草風呂をどうぞ

失しても市役所へは一切連絡がありません。国保の加入・喪失は十四日以内に市役所市民課市民窓口係へ届出してください。

市民の皆さんの健康増進を図るため、今年二回目の薬草風呂無料開放を実施します。心身のリフレッシュ・親子のふれあい・疲労回復にぜひご利用ください。

日時 十月十五日(土)午後三時～八時

場所 市内全公衆浴場九カ所
(日の出湯・亀山湯・改盛湯・長命湯・白山湯・キューピー湯・鳳湯・東湯・松湯)

薬草の種類 乾燥したヨモギ・ドクダミその他



春に行われた薬草教室の探草会

☆一日人間ドック

成人病を早期発見し、早期治療する。

☆薬草風呂

薬草風呂でゆつたり、のんびりリフレッシュ。年二回実施します。

詳しいことは、市役所市民課国保係(☎66・1111内線458)までお問い合わせください。また皆さんが実践している健康法や健康づくり事業に良いアイデア・意見などもご連絡ください。

加入と喪失は必ず届を

事業所に勤め始めて、大野市国民健康保険以外の保険に加入した場合は、必ず二週間以内に両方の保険証と印鑑を

持参の上、国保喪失の届出をしてください。市の国保以外の保険に加入している間に市の国保で治療を受けると、治療費を返していただくことになります。

勤めを辞めて国保に加入する場合は、事業所の社会保険資格喪失証明書・印鑑と世帯内で国保加入者がいるときは市国民健康保険証を持って、加入手続きをしてください。手続きが遅れると加入の日までさかのぼって国保税が課税されます。

国保の届出義務者は世帯主です。勤め先で保険を取得・喪失



人口は40,245人

平成七年国勢調査

五人に一人が高齢者

平成七年十月実施の国勢調査による大野市の確定人口が四万二千四十五人と発表されました。前回からは七百四十六人の減少です。

大野市の人口は市制施行後の国勢調査(昭和三十年)では四万七千六百二十一人(西谷村三千四百三十六人含む)でした。その後一時的に横ばいになったものの、平成七年調

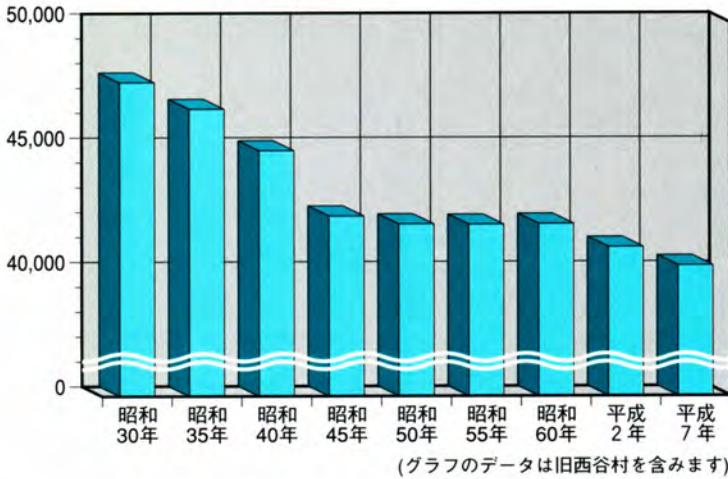
査まで減少が続いています。

昭和五十年と平成七年の五歳階級別人口ピラミッドを比較すると、六十五歳以上の老年人口が増えて高齢化が進んでいます。また出生率の低下・晩婚化・若者の市外流出を裏付けるように十五歳未満の年少人口や二十歳代・三十歳代の人口も減少傾向です。特に老年人口は八千三百二

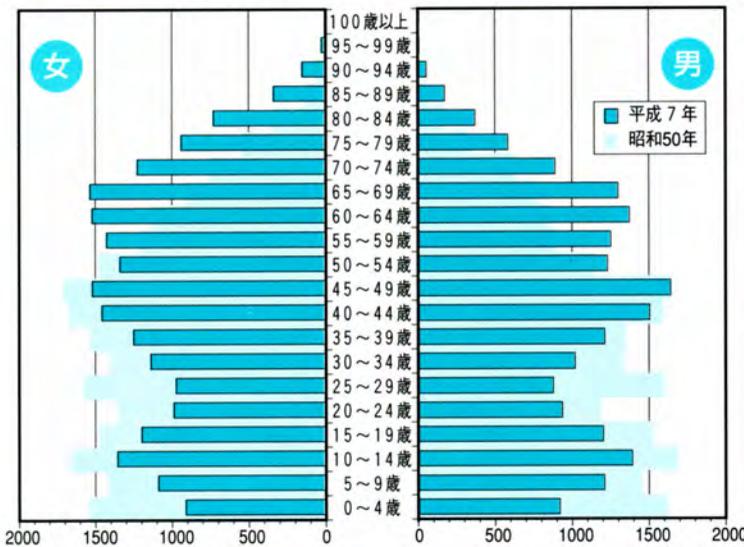
十九人と、今回初めて年少人口の六千八百七十一人を上回りました。老年人口率は二〇・七割になり、市民の五人に一人は高齢者です。高齢化を反映して平均年齢は四十二・七歳となり、前回(平成二年)の四十・七歳を大きく上回りました。

市では国勢調査の結果を詳しく分析するとともに、老人保健福祉計画や第三次総合計画後期計画に基づき、若者の定着や高齢化社会への対応を図るための諸政策を進めます。

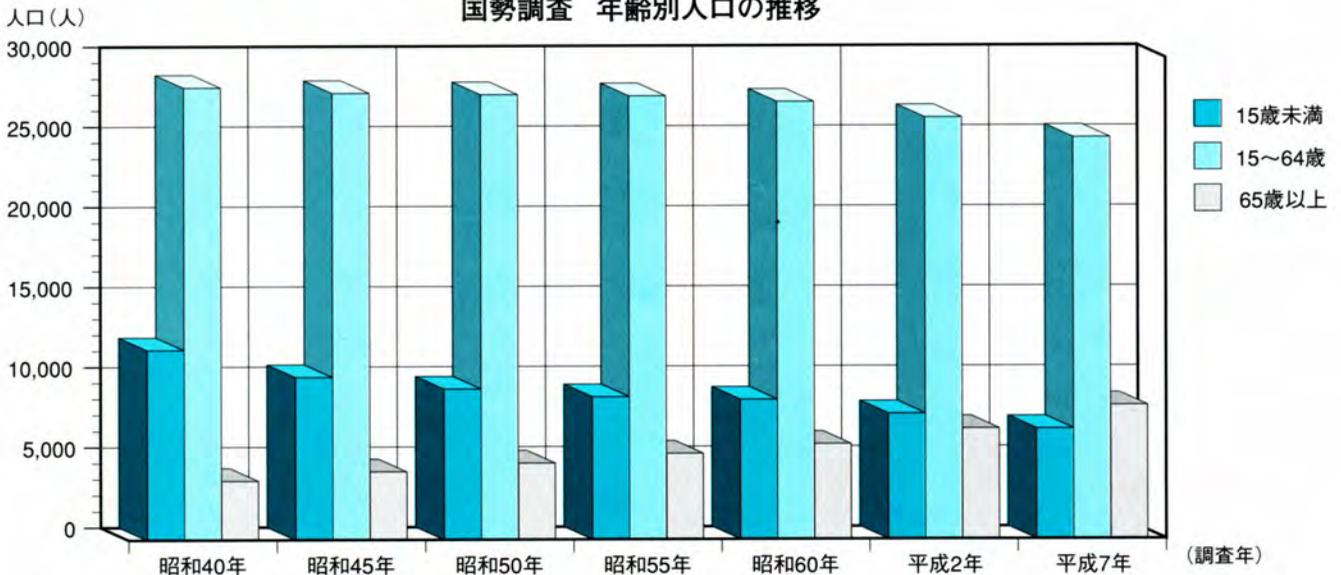
国勢調査 人口の推移



国勢調査 人口ピラミッド



国勢調査 年齢別人口の推移



社会人から市職員募集

求めます豊富な経験・知識

大野市では、企業などで活躍中の経験豊富な人材を求めています。「力強い大野、やさしい大野」づくりに参画する意欲のある次のような人ぜひ応募してください。

- ・ Uターンして、ふるさと大野に貢献したい
- ・ 自分の力を大野で試したい
- ・ 民間企業などで得た豊富な経験や柔軟な発想を基に、中堅職員として活躍したい
- 採用予定人員 一般職事務Ⅱ 2人程度

受験資格 昭和40年4月2日から昭和47年4月1日までに生まれた人

試験日 12月1日⑩

試験方法 教養試験・事務適

影路議員が逝去

8月27日、影路昭治市議会議員（59歳・高砂町）が逝去されました。

平成7年2月の市議選で初当選し、総務常任委員会副委員長、教育民生常任委員会副委員長を務められました。謹んでごめい福をお祈りいたします。

選挙管理委員長に 長谷川 久氏

9月4日、市選挙管理委員会は退職した長谷川研一委員長の後任に、長谷川久氏（72歳・中保）を選出しました。委員長職務代理者は永田房子氏（72歳・新庄）。欠員の委員には9月2日、北山由美子氏（57歳・牛ヶ原）が就任しました。

正検査・作文試験・口述試験・健康審査

受付期間 10月1日④から10月31日⑤まで

申込方法 市総務課職員係にある所定の申込用紙に必要な事項を明記のうえ、写真をはって提出。郵便で申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「一般職試験（社会人専用）申込書請求」と、朱書きし、あて先を明記して130円切手を同封のうえ〒912福井県大野市天神町1-1大野市役所総務課職員係へ送付

問合せ先 市役所総務課職員係（☎66・1111内線223）まで

集え、文化会館に

あなたのいすが待っています



ホール技術スタッフ研修を実施

舞台、音響、照明を自分たちで

市文化会館で八月から市民を対象に、ホールスタッフ育成のための研修会が始まりました。今年の四月からスタートした文化会館は、市の文化活動の拠点と位置付けられています。会館の利用を促進するためには、自分の手で文化イベントの企画や演出・運営ができるホール技術スタッフが必要です。

研修内容は、「舞台」「音響」「照明」の基礎的な講義と会館の機材を実際に使った実技研修を含め全部で八回で、途中からの参加も可能です。現在は三十八人の方が参加しています。研修を通じて文化イベントの裏方の役割や重要性を認識していただき、市民みんながイベントを運営するためのリ



ターに育ってほしいと、市教育委員会では考えています。研修は十二月で終了することを基に、その後行われるイベントの運営に参加することも可能です。

今後の日程を紹介します。

時間は午後七時からです。

（最終日は午前九時から）

▽十月八日④講義「照明とは」

▽十一月十二日④実技「照明設備の仕組みと動作」

▽十一月十九日④実技「舞台機構の仕組みと動作」

▽十二月十五日④実技「実際の音響・照明・舞台」

参加は無料で対象は高校生以上になっています。希望する研修だけでも可能です。気軽に参加ください。

申込・問合せ先 市文化会館（☎66・5410）まで

一般会計に

五億四百六十四万円を追加

第二百八十七回九月定例市議会は、九月十日から二十四日まで開かれ、「一般会計補正予算案」「簡易水道事業特別会計補正予算案」など十議案が可決承認されました。一般会計では、歳入・歳出にそれぞれ五億四百六十四万

三千円が追加され、予算総額は百四十九億六千三百七十八千円となり、前年同期と比べて一〇・〇%の増です。学校給食の〇・一五七対策費を含め一般会計の主な補正予算は、左表のとおりです。



改修される三角公園

9月補正

一般会計の主な事業

◆総務費	
・健康保養施設整備事業	1,593万円
◆民生費	
・老人ホームヘルパー派遣事業	111万円
・老人福祉センター施設整備事業	112万円
◆衛生費	
・合併処理浄化槽設置整備事業補助	289万円
・じん茶処理施設維持管理経費	150万円
◆農林水産業費	
・地域生産調整推進事業補助	1億2,132万円
・県単土地改良事業	980万円
・県営土地改良事業補助	1,054万円
・県単林道改良事業	2,005万円
◆商工費	
・魅力ある夜間景観創出モデル事業	3,170万円
・空地空家活性化対策事業補助	100万円
◆土木費	
・屋根融雪化促進事業補助	1,500万円
・道路整備事業(単独)	5,000万円
・河川改良事業(単独)	5,000万円
・北部第三土地区画整理事業	700万円
・街路整備事業(街路三番線)	2,292万円
・都市公園維持管理事業(三角公園)	1,200万円
◆教育費	
・小学校給食運営経費	212万円
・中学校給食運営経費	159万円
・スノーボード選手権大会開催補助	100万円

痴ほう性専用のデイサービス開始

大野和光園の増築工事完了



十月から市内で三番目のデイサービスセンターが大野和光園(篠座79-11)に開設されました。鉄筋コンクリート二階建てで、総面積は約二千平方メートル。一階が新設されたデイサービスセンターとシヨートステイ五床の増床分で、二階は特別養護老人ホームの増築部分となります。総事業費は約三億三千六百万円です。

すでに開設している聖和園と一乗ハイツのデイサービスセンターは、虚弱老人や寝たきり老人が対象ですが、この

十月から市内で三番目のデイサービスセンターは痴ほう性老人を対象です。痴ほう性老人を送迎して各種サービスを提供することにより、心身機能の維持と介護者の負担を軽減することを目的としています。定員は八人で月曜から金曜まで受け入れ、毎日の通所も可能です。県内では四番目の施設になります。

痴ほう症で困っている方はぜひご利用ください。お問い合わせは、市役所福祉課高齢者福祉室(☎66・11111線474)まで。

水と緑の里大野で友情の輪を



県スポーツ少年大会開かれる

エキサイティング

スポーツ

情報

県体協創立50周年記念第32回福井県スポーツ少年大会が九月一日に、エキサイト広場をはじめとする市内二十の会場で開かれました。

開会式では、長年にわたり活動が続けてきた単位団や指導者らが表彰されました。大野市関係の表彰は、次のとおりです。

〔優秀単位団表彰〕

- 富田野球スポーツ少年団
- 有終南野球スポーツ少年団
- 有終少年野球スポーツ少年団
- 有終東野球スポーツ少年団

大会には、県内各地から約三千八百人のスポーツ少年団員らが集い、サッカーやバドミントンなど九競技に熱戦を繰り広げました。

競技のほかに低学年が参加するハイキングも行われ、初秋の大野を楽しみました。

● 県体協創立50周年記念 第33回奥越駅伝 参加チーム募集

- 日時 10月20日(日)開会式11時
前9時30分 スタート11時
前10時30分
- 種別 ▼1部(一般・大学生の男子) ▼2部(高校男子) ▼3部(一般・高校の女子) ▼4部(奥越管内の職場) ▼5部(中学男子) ▼6部(中学女子)

コース ▼1〜3部11・21・0975(ふれあい公園) ▼4〜6部112(ふれあい公園) ▼下黒谷・往復5区)

締切 10月8日(火)
参加費 選手・監督一人100円

申込・問合せ先 市教育委員会スポーツ課(〒912大野市天神町1-1 ☎66・1111内線531)まで



● 市スポレク祭で マーチング

10月10日(日)に開かれる、市スポーツレクリエーション祭の総合開会式で、いとよ保育園児によるマーチングが披露されます。

皆さん、ぜひご覧ください。
時間 午前9時
場所 エキサイト広場

施設 スポット

⑪ 御清水会館

城登城の折、江戸城本丸の表座敷「雁の間」に通されたことから、「雁の間」を模して茶室を兼ねた六畳と八畳の和室を再現しました。

玄関口には、越前和紙独特の腰の強さを生かした水引細工をはじめ、大野の名産、特産品を展示しています。

近くに來られたときには、観光客だけでなく市民の皆さんも気軽に利用してください。

開館時間 午前9時〜午後5時

休館日 4月〜11月11日曜日

と祝日の翌日 12月〜3月11日曜、祝日および年末年始

問合せ先 大野市役所商工観光課(☎66・1111内線333)まで

環境庁の名水百選にも選ばれている御清水は、古くより周辺住民の生活用水として利用されてきました。また、城下町越前大野の観光名所の一つとして、多くの観光客に親しまれています。

御清水会館は、御清水の北側に大野市のまちなか観光の無料休憩施設として、平成五年春に市が整備しました。

以来、観光客の憩いの場、観光案内所として利用されています。

外観は、御清水の雰囲気にもマッチした木造平屋建ての切妻様式となっています。

「水のまちおの」をイメージして、手押しポンプや御清水の風情を感じさせる小庭園も作られています。

内部には、歴代越前大野藩主土井公が江戸



痴ほう症



みんなで理解して

助け合う地域づくりを

先日、痴ほう症をテーマにした専門医師による講演がありました。痴ほう症を特別扱いや、யக்காய்மணியிலும் நின்றுகொண்டிருக்காதீர்கள், 本人や周囲の人たちが安心して暮らせるようにしようとの内容です。興味深い講演でした。その講演内容を中心に痴ほう症について紹介します。

誰もが持っている可能性

痴ほう症は、六十五歳の人の約七割、八十五歳の人では二十五割に出現するそうです。こうなると痴ほう症は病気でなく、年をとったら程度の差はあっても、誰もがなる可能性がありますと言っても過言で

はなさそうです。

だれもが通る道、特別ではないという気持ちで痴ほう老人を受けとめる第一歩です。

家族が協力して

痴ほう老人の世話が大変なことは経験した人でないと分からない面もあります。しかし痴ほうと付き合うとき、痴ほうへの理解があれば少しゆとりを持って上手に世話ができるでしょう。

痴ほう症には

- ①まだら痴ほう⇨正常な状態と痴ほうが交互に現れる。
- ②短期記憶障害⇨その日暮らしの人になる。少し前の体験を全部忘れる。
- ③感情優先⇨なぜしかられたのかは忘れても、しかられた



たという思いは残る。

④症状の出現は身近な人に強い⇨世話をする人が犯人にされやすい。

などの傾向があります。

痴ほうと付き合う秘けつは説得するより受け入れることです。例えば、食事が済んだばかりなのに「ご飯をまだ食べていない」と言われたら「さつき食べたでしょう」と言うより「これから作ります。その前にあめでも」と勧めてみましょう。孤独や疎外、屈辱を経験させたり、役割を取り上げたりすると痴ほうを悪化させます。また介護に他人の手を借りることも大切です。家族だけでは感情的になって行き詰まる場合があります。他人だからこそ痴ほう症の人の話に相づちを打てるのです。

外出も大切です

地域への迷惑を恐れないことも大切です。近所の人にオープンにして助け合いましょ。日ごろ人に迷惑を掛けないように気を付けて生活をしていても、高齢化が進む中安心して暮らすには、迷惑を認め合う地域づくりも重要です。

はいかいするのを近所の人が見かけたら、知らせてくれるように頼み、むやみに部屋に閉じ込めたりはしないことです。そのように実践している家族の「歩きたいのに閉じ込めたらかわいそうでしょ」という一言には、ほっとする温かさが感じられます。

痴ほう症は、高齢化社会にとって避けて通れない問題です。家庭や地域が特別視することなく取り組む必要があります。



皆さんの健康づくりを後押しします・保健センター (☎65-7333)

アドバイス

暮らしの

ご存じですか 商品の表示や こんなマーク

輸入の増加や健康ブームが拍車

皆さんは商品を購入するとき何を目安に選んでいますか。近年輸入が活発になってきたことや消費者のニーズが多様化したことからさまざまな商品が供給され、内容のよく分からない商品が増えてきました。今月は商品に付いている表示について紹介します。

原産地表示と 栄養成分表示

近年、身の回りにも輸入品が増加していますが、食品も例外ではありません。最近一部の食品に「原産地表示」と「栄養成分表示」が義務付けられました。

原産地表示

青果物については農林水産省が定めた「青果物の一般品質表示ガイドライン」で、産地または原産国を店頭において表示するよう指導されていますが、義務ではありません。しかし円高で輸入が急増しているサトイモ、なまシイタケ、ニンニク、ブロッコリーの五品目については、八月から原産地表示が義務づけられました。具体的には国産には都道府県名、輸入品には国名を表示します。

食肉については、原産国表示を義務付ける方向で検討さ

れています。

栄養成分表示

健康ブームで「低脂肪」や「カルシウム強化」など栄養に関する表示をした食品がたくさん販売されています。しかし消費者から、本当に表示のとおりなのかどうか不安の声があるため、五月から栄養表示基準制度が導入されました。加工食品などの栄養成分について何らかの表示をする場合には、必ず熱量、タンパク質、脂質、糖質、ナトリウムおよび表示された栄養成分の含有量を表示することになりました。

また「豊富」「強化」「高」「増」などのような強調表示に

洗剤・漂白剤などに既に使用されている絵表示



禁止(行為)を表わす警告表示



おもちゃの絵表示



機械的危険に関するもの



は、含有量が一定基準を満たすことを義務付けています。

PL法による表示

PL法とは、製品の欠陥が原因で生命や身体または財産に損害を受けた場合、その製品の製造業者や輸入業者に損害賠償を求めることができるというものです。平成七年七月に施行されました。

施行後、保管や使用上の注意などを呼びかける警告マークが付いた商品を見かけることが多くなりました。しかしPL法が施行されても、消費者の誤った使用による事故には適用されません。

各業界では、製品の使用方法を誤ると危険であることを示す警告マークで、消費者に注意を呼びかけています。

消費生活に関するご相談は消費者相談センターへ・☎66-1111 内線463 (市役所生活環境課)

市民のページ

■この「ページ」では市民の皆さんの活動ぶりやご意見などを紹介します。あなたもページに参加しませんか。連絡先 市役所秘書広報課（☎66・1111）

今月のスナップ



おっと、危ない
(南部児童センター輪車大会)



のではないのでしょうか。自由で気ままな読書…いい言葉ですね。漫画でも軽い内容のものでも、何でもいいんです。『読書はパワー』では、漫画本にも幅広い読書レベルがある、漫画によってさまざまな読書に導かれると証明されています。

内容は論文の翻訳なので、いろいろな実験結果・データで進められています。全部読むのは大変だったら、「欄外要約」を見てください。短くまとめられ、テーマごとに結論が出されています。そこが論文の強いところです。

読書はパワー。つまり何も難しい本でなくても読みたい本を読めば、広い意味であらゆる可能性が出てくる。そんな力が読書にはあります。自信を持って好きな本をどんどん読みましょう。

問合せ先 市図書館（☎65・5500）まで



『読書はパワー』
スティーブン・クラッシュェン著
長倉美恵子 他訳
金の星社

ぐるーぷ登場

R C F

(ラジオコントロールフライヤーズ)

手作りの飛行機を大空に

RFC（ラジオコントロールフライヤーズ）は、ラジオの飛行機やヘリコプターの愛好者の集まりです。

それぞれラジオコンの飛行機やヘリコプターを楽しんでいる仲間が、騒音や事故防止のために声を掛け合い、クラブが誕生しました。昭和五十八年のことです。

現在の会員数は二十一人で、夫婦で楽しんでいる会員もいます。土曜日と日曜日の午後が集まり、自由に飛ばしています。活動場所は真名川河川敷で、君ヶ代橋とJR九頭竜線鉄橋の間です。クラブでは飛行場の草刈りや周辺の美化にも心掛けています。

クラブ対抗などの競技会に出場し、好成績をあげる会員もいます。飛行技術の検定試験もあるそうです。

機体は完成品で二万円程度、エンジンは五千円程度からあります。手作りのキットだと機体も五千円くらいで済みま

す。会員のほとんどは自分で楽しみながら作成した機体を持っています。維持費も燃料費がほとんどで、月二・三千円で済むそうです。

初心者でも一〜二カ月で飛ばせるようになるのとのことです。最近では、技術の進歩で二台の操縦機をつなげるようになり、ベテランが初心者を指導しながら飛行技術を教えられるようになりました。

会長の宮内嘉彦さん（春日三）は「どんなに慣れても新しい機体を飛ばすときには、緊



張します。自分の手で自由に操る気分は最高です」と子供のような笑顔でした。

やってみたいと思う人は、クラブに参加してほしいとのこと。申し込み、問い合わせは、宮内嘉彦さん（☎65・1375）まで。

『読書はパワー』

ブックトークとは、本の内容についてお話しすることです。今月から図書館の本を紹介していきます。読んでみたいと思っただけなら幸いです。本とのよい出会いを……。

「読書してますか」と聞くと、好きでたまらない、時間や興味が無いなど答えはさまざまです。興味の無い人でも、学生時代に感想文を書いたり、子供に読んでとせがまれたり、どこかで本とかかわっている



こんにちは

国体に燃えた15歳の夏

兼井彩子 さん(上庄中3年・今井)

兼井彩子さんは、九月八日から十一日まで広島県で開かれた、第五十一回国民体育大会

会夏季大会に福井県を代表して参加しました。

小さい時から泳ぐことが大好きで、大野のスイミングスクールで泳いでいました。今年から記録向上のため、ライバルのいる福井のスクールで練習しています。得意な種目は、自由形と平泳ぎです。

国体出場を目指して頑張っていたので、参加が決定したときは感激しました。大会では個人百メートル泳ぎとリレーに出場しました。試合では普段

と違う雰囲気緊張し、スタートまでの時間が非常に短く感じたそうです。惜しくもすべて予選で敗退しましたが、持ち前のガッツで自己ベストを更新しました。

大会はオリンピック直後だったこともあり、有名選手に会えてうれしかったと照れながら話してくれました。

これまで毎日練習していましたが、高校受験のため週に二、三回しか練習できないことが残念です。「高校に入ってもっと頑張りたいです。インターハイ出場が目標です」と話す兼井さんの笑顔には、一つの目標に向う力強さ

があふれていました。

最近、新聞やテレビなどで大野市の人力車について見かけます。自分たちのお金で人力車を買って、自分たちで引いて大野のイメージアップをするなんて、とても素晴らしいことです。
特に古い街並みが残る大野には、人力車はとてもよく似合います。また大野の観光発展にも役立つことだと思います。私も一度乗ってみたいと思っています。

私もひとこ

越前こぶし組の皆さんがんばって

ようか。私は高校生なので小遣いの範囲で乗れたらいいなと思います。

いろんな土地からやって来た観光客が、この街を楽しんで、そして喜んで帰ってもらいたいと思います。

わたしも、こぶし組の皆さんのように町づくりに協力したいと思っています。参加できるのなら、ぜひ参加したいです。

こぶし組の皆さん、これが

私も頑張ってください。応援しています。

(市内16歳 匿名希望)

越前こぶし組は、市やその他の団体からの援助は受けず、自分たちの手で準備、運営しています。現在人力車を引いている車夫は十三人いて、すべてボランティアです。

乗車代金は二台目の人力車を購入するため、大野市民が利用しても乗車代金を頂いています。



福祉施設での無料サービス

越前こぶし組の趣旨に賛同していただけるのでしたら、ぜひとも人力車を利用して、二台目の購入に協力をしてください。

ほかの方法でこぶし組に協力していただけるなら、毎週土曜日と日曜日、祝日に元町会館でメンバーが待機していますので、お申し出ください。

(組頭 朝日正幸)

投稿規定

市政についての質問や意見などを、ハガキでお寄せください。「住所・氏名・年齢・電話番号」を必ずお書きください。紙上匿名は自由ですが、住所・氏名のないものは採用できません。

原文を一部要約することがあります。

あて先は、「☎912 大野市天神町一丁目 市役所秘書広報課広報広聴係」です。

お手元の調査票。もれなくご記入ください。折らないで、調査票。



調査票を受け取りに伺います。

10月1日は事業所・企業統計調査。調査票が届いたら、一緒にお渡ししました「調査票の記入のしかた」をご覧ください。折らないで、丸めたり、汚したりしないようにお願いします。調査票は10月1日以後、調査員が受け取りに伺います。ご協力をお願いいたします。



平成8年10月1日(火)

総務庁統計局 大野市

観光宣伝は任せて

ミスおおの'96決まる

ミスおおの'96コンテストが9月8日に越前信用金庫本店で開かれました。市内をはじめ福井市、勝山市などから19歳から25歳まで19人が応募。2次にわたった審査の結果、長谷川さやかさん（糸魚町・写真右）、品川芽久美さん（鯖江市・写真中）、松田和美さん（野中・写真左）が8代目のミスに決まりました。11月から1年間、大野の観光宣伝、イベントなどで活躍します。

社団法人
大野市観光協会



大野の未来を考えよう

小学生が子供サミットを開催

8月23日、「21世紀に飛翔く^{ほばた}児童生徒育成事業」の一つとして、市教育委員会主催による「未来の大野」をテーマにした子供サミットが開かれました。市内の全小学校から5・6年生53人が参加、交通や産業などのテーマ別に10班に分かれ、話し合った結果を絵にして発表を行いました。地下水保全やイトヨの飼育、遊園地の設置など大野の未来についてさまざまな意見が出されました。来年1月には中学生のサミットが開かれます。



皆なでかいた火の用心

消防ポンプ小屋に防火絵画

夏休み中、市内の小学生が各地区の消防ポンプ小屋のシャッターに防火のための絵をかきました。これは大野地区消防本部が児童への防火教育の一つとして、また地域住民の防火意識を高めることが目的です。絵画は市内の全ポンプ小屋21カ所のシャッターに、校区の小学生がテーマを選んで手がきました。今後は2年おきにかき換えていく予定です。



話題の広場

話題の広場



まちづくりを市民の手で 都市マスタープラン策定委員会

9月4日、大野市が目指すべき都市の将来像を具体的に示す大野市都市マスタープラン策定委員会の1回目の会合が、市役所で開かれました。策定委員会は、学識経験者やまちづくり市民会議のメンバー、公募により選ばれた6人の市民を含む23人で構成されています。委員長に福井大学の玉置伸吾教授が選ばれ、市がまとめた基礎資料を基に現況や今後の課題について活発に意見が交わされました。委員会では来年3月までにプランをまとめる予定です。

今年も力作ぞろい 市美術展に230点

8月30日から9月1日まで、有終会館で第17回大野市美術展が開かれました。市内をはじめ近隣市町村の美術愛好家からの作品が展示されました。今年は絵画、造形、彫塑、書道、写真の5部門に、昨年よりやや多い約230点の出品がありました。どれも作者の思いが伝わってくる力作ばかりで、会場を訪れた人は作品の出来栄えに感心していました。



公開番組「小朝が参りました」 満員の会場は笑いの渦

8月28日、文化会館でNHK公開番組「ふるさと愉快亭 小朝が参りました」の収録が行われました。テレビでも人気の番組とあって大ホールは大勢の市民で満席。生で聞く落語に会場は大爆笑の連続、諸国漫遊塾では七間朝市や御清水など大野にちなんだ問題が出され、全国に発信されました。放送は9月29日でした。



身近な話題をお知らせください。

お知らせ 10月



●文化会館の

予約申し込み

平成9年度（平成9年4月1日～10年3月31日）の文化会館の使用予約を次のとおり受け付けます。

電話での予約には、一切応じません。利用希望の人は、直接文化会館までお越しください。（休館日に注意）

受付開始 10月12日（土）午前8時30分

休館日 毎週月曜日、国民の祝日の翌日、年末年始

問合せ先 文化会館（有明町11-10） ☎66・5410）まで

●大野准看護学院の 入学生を募集

あなたも准看護婦（士）を目指しませんか。大野准看護学院では、次のとおり入学生を募集しています。

人数 男女合わせて15人
資格 中学卒業程度
入学試験 第1次 10月15日

①午前9時・第2次 12月10日（火）午前9時

試験科目 国語・理科（生物）

・面接

修業年限 2年

申込・問合せ先 大野准看護学院（篠座117-16-1） ☎66・4671）まで

●年金の無料相談

国民年金、厚生年金、農業者年金に関する無料相談が行われます。

年金の受給に関することや保険料の納付についてなど、年金に関することならどんなことでもかまいません。お気軽にお越しください。

★日時 10月15日（火）午前10時～午後3時

★日時 10月26日（土）午前9時～午後4時

★日時 11月9日（土）・10日（日）午前10時～午後4時

場所 上庄農協本所（JAFフェスタIN上庄会場内）

場所 有終会館（産業フェア会場内）

問合せ先 市役所市民課

係 ☎66・1111 内線455）まで

●合併処理浄化槽の 設置計画を調査

市では生活雑排水による河川の水質汚濁を防止し、きれいな水にして美しい自然を守るため、合併処理浄化槽の設置を進めています。

来年度の実施予定数を把握するため、10月中に合併処理浄化槽設置計画の調査を実施します。

設置予定のある人は、必ず各区長を通じ、市保健衛生課まで申し出てください。

問合せ先 市役所保健衛生課 ☎65・7333）まで

●10月は高齢者 雇用促進月間です

高齢化社会が進展する中で、活力ある社会を維持するため、高齢者の雇用を確保することが重要な課題です。

労働省では、高齢者の継続雇用を推進するため、10月を高齢者雇用促進月間と定め、高齢者の雇用促進に関するさまざまな運動を展開しています。

詳しくは、ハローワーク大野（☎66・2408）まで。



交通マナー日本一・福井 運動県民指標

県では、平成八年八月から平成十年度までの三年間、「交通マナー日本一・福井」運動を積極的に展開しています。その中で交通事故防止の徹底を図るため、次のような県民指標を設定しました。各職場やクラブの会議などにおいて唱和し、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に努めましょう。

私たち、〇〇は「交通マナー日本一・福井」運動に進んで参加するとともに、

次のことを実践します。

- 一、私たちは、車に乗れば必ずシートベルトを締めます。
- 一、私たちは、ゆとりを持って黄色信号で止まります。
- 一、私たちは、分かりやすい早めの進路変更合図を行います。
- 一、私たちは、左右の安全をよく確かめて道路を横断します。
- 一、私たちは、夜間外出時に反射材を付けるなど目立つ工夫をします。

また十月四日から各地区で、自動車運転講習会（市民カレンダ―参照）が開催されますので、奮って受講してください。

●六呂師高原 すすき祭

高原を渡るさわやかな風になびくすすきは、秋の六呂師高原ならではの風景です。自然に触れ、ふるさとの秋を満喫してください。

★日時 10月6日（日）午前10時～午後4時（雨天の場合は一部内容を変更して実施）

場所 六呂師高原スキー場
内容 巨大すすきオブジェ「花プランコ」・創作教室・ファッションショー・すす

●難病治療中の人へ

1年以上市内に住み、いわゆる難病の治療で6カ月以上入院や通院を継続している人に、特別見舞金が支給されます。該当する人は、保健センターにある申請書に記入のうえ、10月25日（金）までに申請してください。

申請・問合せ先 市保健センター（☎65・7333）まで

10月13日～19日は行政相談週間

官公署への苦情や意見、要望をご相談ください

毎日の暮らしの中で、官公署の仕事についての苦情や意見、要望はありませんか。全国5,000人の行政相談委員は、皆さんから官公署の仕事についての苦情などをお聞きしています。口頭、電話、手紙のいずれの方法でも結構です。

相談は無料で、秘密は守られますので、どなたでもお気軽にご相談ください。

定例行政相談 日時 毎月第1・3木曜日
午後1時30分～4時
場所 有終会館

行政相談委員

吉田とみ子さん 本町3-1 (☎66・3261)

三宅 嵩さん 天神町7-4 (☎65・0584)

●屋根融雪装置の設置に補助

市では雪に強い町づくりを進めるため、自ら居住する個人住宅に、県が認定した屋根融雪装置を設置する人へ補助金を交付します。

補助金額 設置に要する金額の3分の1で限度額60万円
申込期限 10月11日(金)
申込・問合せ先 市役所建設課管理建築係 (☎66・11

●市総合文化祭の展示作品募集

11内線347)まで

11月1日から3日まで開かれる、市総合文化祭の展示部門の作品を募集しています。絵画、書道、工芸、写真、その他で出品点数や作品の規格は自由です。

締切 10月9日(水)
搬入 10月31日(木)
申込・問合せ先 市教育委員

●犬の予防注射は済んでいますか

会文化振興室 (☎66・111内線547)まで

狂犬病予防注射は、毎年受ける必要があります。開業獣医師に注射を受け、保健センターで注射済票の交付を受けてください。

新しく犬を飼育する場合は、予防注射と登録の手続きが必要です。また死んだり、他人に譲った場合も手続きが必要になります。

問合せ先 市保健センター (☎65・7333)まで

●ホームヘルパー養成の研修をします

ホームヘルプサービスに従事するに当たって、必要な知識と技術の基礎を習得するものです。

期日 11月9日(土)・15日(金)・16日(土)・21日(木)・28日(木)・30日(土)・12月7日(土)・14日(土)・21日(土)・1月18日(土)

(変更の場合もあります)
場所 有終会館・勝山市教育福祉会館・聖和園

対象 ホームヘルプに従事しようと思っている人・在宅ケアボランティアとして活動を希望する人

研修内容 3級課程(講義・

実技講習・実習)

定員 25人
受講料 1000円とテキスト代

締切 10月18日(金)
申込・問合せ先 市社会福祉協議会(天神町1-19) ☎65・8773)まで

●16ミ映写機の操作技術認定講習会

16ミ映写には、操作免許の所持が義務付けられています。この機会に資格を取得しましょう。

日時 10月12日(土)午前10時30分～午後3時
場所 市視聴覚ライブラリー(市図書館2階)

受講料 750円
持ち物 筆記用具、昼食
定員 5人
申込方法 所定の申込書で視聴覚ライブラリーへ(電話での申し込みも可能)

締切 10月9日(木)
問合せ先 市視聴覚ライブラリー (☎65・5500)

●一日ハローワーク開催

仕事や雇用保険・年金のことなどの相談に応じます。

日時 10月25日(金)
場所 リブレ一階西口
問合せ先 ハローワーク大野 (☎66・2408)まで

●用水の断(減)水にご注意

真名川より取水している農業用水路が、改修工事により断水または減水します。

〔堀兼上江用水路、堀兼中江用水路、堀兼下江用水路、明後幹線用水路および支線用水路〕

期間 10月1日(火)から12月中旬

〔大井中江第2号用水路および支線用水路〕

期間 10月1日(火)から平成9年3月25日(土)

問合せ先 県奥越耕地事務所 (☎65・1280)まで

阪神・淡路大震災義援金第三次配分が行われます

阪神・淡路大震災で被災された方々へ、義援金の第三次配分(生活支援金)が行われます。

対象 住宅が全・半壊(焼)し、主たる生計維持者の平成7年の総所得金額が690万円以下の世帯

支給額 1世帯当り10万円
必要書類 所定の申込書、り災・課税証明など

提出先・問合せ先 震災時に居住していた市町の担当課まで

市民のうごき

	9月1日現在	前月比		
世帯数	11,481世帯	△11世帯		
人口	41,450人	△30人		
内訳	男	19,809人	△12人	
	女	21,641人	△18人	
8月中の異動	転入	35人	出生	19人
	転出	54人	死亡	30人

市内の交通事故状況 (年頭からの計)

件数内訳	平成8年 8月末	平成7年 8月末	比較
総件数	339件	367件	△28件
人身事故	90件	103件	△13件
死者	1人	0人	1人
傷者	122人	138人	△16人
物損事故	249件	264件	△15件

表紙のうごき

秋晴れに恵まれた九月十一日、小学校連合体育大会が奥越ふれあい公園で開かれました。参加した小学生は和泉村を含めて約一千百人。数年前までの土のグラウンドに比べると夢のようです。一位になっても、転んでしまっても良い思い出が残ったことでしょう。

編集後記

平成七年の国勢調査で、人口は四万人台を保ったものの、六十五歳以上の老年人口は全体の二〇％を超えました。市民の五人に一人を占めるお年寄り。ますます高齢化社会へと進む今、健康・福祉・雇用など地域全体で考えていく必要があるのではないのでしょうか。



若杉町の松本成樹さん(30歳)の宝は、旧大野高校を撮影したビデオテープです。約九分間に懐かしい校舎や部活動の様子が記録されています。平成四年の旧益に高校の同窓会を開くことになり、帰省してくる級友たちが喜ぶ企画をしようと友人たちと相談していました。その時校舎取り壊しの話を聞いて、二度と見る事ができない校舎を撮影することに決めました。同級生三人と構想を練り、さっそく撮

影を開始。大野高校の先生も心よく協力してくださいました。松本さんは、特にビデオ撮影が趣味だったというわけではなく、機材も家庭用の小型ビデオカメラを使用しました。編集も普通のビデオデッキを使用しました。それでも巧みに編集され、ナレーションもついて在りし日の校舎が鮮明に映し出されています。

22 旧大野高校を写したビデオ

予定どおり同窓会で上映したところみんな大喜びで、何本か複製して分けたほでした。松本さんは高校時代の級友はみんな個性的で、それぞれ好きかってにやっているようでしたが、体育祭や文化祭などでは団結心を発揮したといいます。特にクラスで自主的に卒業文集を作成したことは、良い思い出です。

今も時々、思い出したようにこのビデオを取り出して見えています。校舎取り壊しの時も撮影したので、撮り貯めた分と合せて再編集も考えています。松本さんは「思い出がいっぱい詰まった校舎が無くなったのは、寂しく思います。ビデオを見るたびにいろいろなことが昨日のように思い出されます。新しい校舎でもすばらしい思い出をつくってください。」と、在校生にエールを送ってくださいました。



今年には地方自治体のレベルで大きな課題について住民の意向を直接聞く「住民投票」が行われた。私たちが投票の結果

に大きな関心を持ったところである。新潟県巻町の原発誘致の懸案にしても、沖縄県の米軍基地問題にしても、関係のある自治体のみでの問題ではないからこそ、国民の多くがその成りに注目したのである▼ところで昨年新しい試みとして始められた「市長へのメッセージ」の第二回目の募集が、先月行われた。今回のテーマは「力強い大野を実現するために」であり、市民からの具体的な提言を聞くというものである▼行政の側には市民が何を望んでいるか、どんな不満を持っているのか、その本音を把握しにくいという恐れがある。市民にも言いたいことはいっぱいあるが、それが行政に届かないという不満がある▼「市長へのメッセージ」市民提案箱「やまびこ」への投書という方法は、きわめて控えめでソフトであるが、実は住民の市政への直接参加として大事な方法であると考えられる。筆者は昨年提案したが、今年も愚見を投じた一人である▼大野市の人口は昨年十月の国勢調査の結果でも四万人台に踏みとどまっている。いろいろ批判はあるが、底力は十分あると思う▼行政は市民の提言を謙虚に受けとめ、力強い大野を実現させる施策に少しでも取り入れてほしい。住民投票以上に、寄せられたメッセージに強い関心を持たなくてはならないのではないか。(A)